

保健体育科現状の分析と授業改善プラン

体育科における平成29年度改善プランの検証

<関心・意欲・態度>

目標とする記録や試合の内容を明確に示し説明を加えることで、練習に対して意欲的に取り組んでいた。グループ活動を取り入れ、アドバイスをし合い、協力する姿があった。

<技能>

記録用紙や学習カードの活用を通して、生徒自身が課題を見つけて授業に取り組んだ。技能テストにおいては意欲的に取り組む姿勢が見られた。

<思考・判断>

技能の要点の明確化と学習カードの活用により、考えた上での活動が行えた。記録や技能テスト、ゲームに向けて計画をし、予測を立てて解決していくことが今後の課題である。

体育科観点別結果の分析

<関心・意欲・態度>

授業のきまりを守り、意欲的に取り組む生徒が多い。目標を持つことで、より積極的に授業に参加する態度が養われる。

<思考・判断>

安全に留意できる生徒や、自己の能力の評価やそれに応じた課題の取り組みが行える生徒が増えてきている。計画を立て、予測をして課題を克服していく力はもう一歩である。

<技能>

能力的には低くはないが、瞬発力・投力の体力要素がやや弱い。

持久力では1年を通して取り組んできた結果、向上している。

<知識・理解>

積極的に知識を身につけ、運動や生活に活用しようとする生徒とそうでない生徒の差が大きい。

体育科の授業改善のポイント

<関心・意欲・態度>

2、3年生では発展的な練習を行う際に、練習方法の幅を広げて取り組めるように工夫を行う。

1、2年武道では、礼儀と、人を思いやる精神を養い。健康な身体を養う。

<思考・判断>

積極的な思考・判断を促すために、運動のしくみや集団的技能・戦術に関する指導、教材の充実を図る。

<技能>

基本技能の重要性を指導することにより、基礎練習への意欲の向上を図る。各学年の一層の体力向上を目指す。

<知識・理解>

教材の工夫、日常に結びつけた事例の充実により関心の向上、知識理解の向上、定着を図る。

体育科授業改善策

<1学年>基礎体力の向上を図る。多様な動きができるような導入を工夫し、基礎体力向上と怪我の防止につなげていく。

<2学年>教材の工夫によって思考判断の必要性を理解させ、主体的に技能、体力の向上を図る姿勢を身につけさせる。補強運動をはじめ積極的に体力の向上を図る活動を組み込んでいく。

<3学年>基礎的・発展的技能の重要性の理解を促す指導の工夫により、意欲を高め、技能の一層の向上を図る。補強運動をはじめ柔軟運動を行い体力の向上を図る活動を組み込んでいく。

※分かりやすい説明を心がけ、教材研究や授業準備を充実させることで、スムーズな授業展開や運動量・練習量の工夫、ICT機器の活用を行っていく。